



希望の鐘

宇部市立見初小学校

令和3年7月16日

児童数
98人
(7/16現在)

<学校教育目標>

さわやかに、かしこく、たくましく未来を拓く見初っ子の育成

G I G Aスクール構想

校長 藤田 康伸

1学期は、新型コロナウイルス感染症防止をはじめ、熱中症対策、大雨等の自然災害の対応等、学校安全に関することが多くありました。感染症については、現在も大きな継続課題ですが、県や市の状況を注視しながら対応してまいりたいと考えております。また、この度の豪雨災害では日本各地で多くの方が被災されました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げるとともに、1日も早い復興をお祈りいたします。

さて、現在学校では、通信ネット環境の整備と1人1台端末の導入を受け、G I G Aスクール構想のもと、**子どもたち一人ひとりに個別最適化された、創造性を育む教育の実現**が求められています。

本校では、これまでもICTの運用・活用は行われてきましたが、こうした**最新の技術と教育実践のベストマッチを模索**しているところであり、家庭や地域とも連携しながら、取り組んでまいりたいと考えております。

例：1年生 うんどうじょうでみつけたおとをかこう
ノートに記録 → タブレットに記録

<メリット>

※友だちと共有（見せ合うこと）がより簡単に

→ 様々な考えに触れる機会の増加

→ **多面的な見方、考え方の育成**

※教師の集約が短時間で

※子どもが楽しそうに操作

一方、**ICT活用は教育目標達成に向けての手段の一つ**であることから、小学校では**読み書き、計算等の機会も十分に確保し、習熟を図ります**。また、講演会等を通じて、情報活用能力の育成し、上手なメディアとの付き合い方も学んでいきます。

子どもたちが、PC・スマホ等を**利用するよさを十分に生かすため**には、利用機会の多い**家庭生活での健康面や安全面等のリスク対応が不可欠**になります。

コロナ渦で在宅が多くなりがちなか中、メディアの需要が高まる夏休みを迎えます。ご家庭においても、今一度、**適切な利用の仕方について話題に**していただきますようお願いいたします。



PCは「文房具」の時代へ



教職員による活用の模索



専門家と連携した情報モラル講演会

健康に気を付けて！！

